

製品名: ECA39 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10277**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	43kDa

抗原情報

遺伝子名	BCAT1
別名	BCAT1; BCT1; ECA39; Branched-chain-amino-acid aminotransferase, cytosolic; BCAT(c); Protein ECA39
遺伝子 ID	586.0
SwissProt ID	P54687
免疫原	抗血清はヒト BCAT1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 231-280

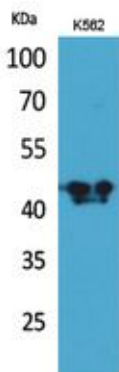
背景

分岐鎖アミノ酸トランスアミナーゼ 1 (BCAT1) ホモ・サピエンス この遺伝子は、分岐鎖アミノ酸トランスアミナーゼ酵素の細胞質型をコードしています。この酵素は、分岐鎖 α -ケト酸から細胞増殖に不可欠な分岐鎖 L-アミノ酸への可逆的なアミノ基転移を触媒します。分岐鎖アミノ酸トランスアミナーゼの欠陥に起因する 2 つの異なる臨床疾患、すなわち高バリン血症および高ロイシン・イソロイシン血症が知られています。この酵素のミトコンドリア型をコードする遺伝子も存在するため、いずれかの遺伝子の変異がこれらの疾患の一因となる可能性があります。選択的スプライシングによる転写変異体も報告されています。 [RefSeq 提供、2010 年 5 月]、触媒活性: 2-オキソグルタル酸 + L-イソロイシン = (S)-3-メチル-2-オキソペンタン酸 + L-グルタミン酸。触媒活性: 2-オキソグルタル酸 + L-バリン = 3-メチル-2-オキソブタン酸 + L-グルタミン酸。触媒活性: L-ロイシン + 2-オキソグルタル酸 = 4-メチル-2-オキソペンタン酸 + L-グルタミン酸。補因子: ピリドキサルリン酸。機能: 必須分岐鎖アミノ酸であるロイシン、イソロイシン、バリンの異化における最初の反応を触媒する。類似性: クラス IV ピリドキサルリン酸依存性アミノトランスフェラーゼファミリーに属する。サブユニット: ホモ二量体。組織特異性: 胚発生において、脳と腎臓で発現する。パーキットリンパ腫などの C-myc 誘導腫瘍において過剰発現する。

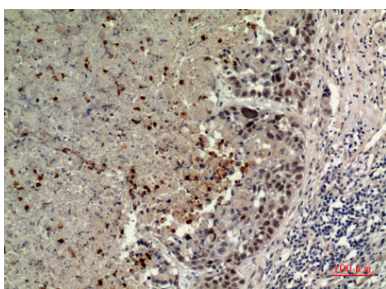
研究分野

バリン、ロイシンおよびイソロイシンの分解、バリン、ロイシンおよびイソロイシンの生合成、パントテン酸および CoA の生合成。

画像データ



ECA39 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト肺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された